

日本での交換留学

大連理工大学

商宇宸

学籍番号 k2590015

4月、私は大きな期待を抱いて日本への留学に旅立ちました。気がつけば4ヶ月が経ち、この交換留学もまもなく終わりを迎えようとしています。初めての海外生活には不安もありましたが、今はかけがえのない思い出と感謝の気持ちで胸がいっぱいです。東京で、そしてお茶の水女子大学で過ごしたこの時間は、私にとって本当に貴重な経験となりました。

私は大学院で日本語教育を専攻していますが、お茶大では関心のあったジェンダー社会科学の分野を学ぶことができました。西村純子先生の「ジェンダー基礎論」では、労働、教育、家族などのテーマを通して、性別をめぐるさまざまな課題について考えることができました。クラスでは中国人留学生も多く、意見交換を通して学び合えたことが印象に残っています。また、ジェンダーに関する授業に加えて、聴解や文法などの日本語の授業もいくつか履修しました。授業では発表やディスカッションにも積極的に取り込んで、少しずつ話すことに自信が持てるようになりました。

授業のない日は、東京の街を歩いたり、日本各地を旅行したりしました。鎌倉、



横浜、京都、大阪などを訪れ、風景や文化に触れました。特に心に残っているのは、人生で初めて体験したことの数々です。初めての花火大会、初めて和服を着て京都の小道をゆっくり歩いたこと、そして鎌倉の海辺で見た美しい夕焼けは、どれも忘れられない思い出です。たくさんの「はじめて」に出会えて、本当に幸せで、留学生活の中でも特に大切な思い出になりました。

また、人生で初めてのアルバイトにも挑戦しました。セブンイレブンでの接客は、最初はとても緊張しましたが、先輩や同僚の優しいサポートのおかげ

で、少しずつ仕事に慣れていきました。日本語での接客を通して、言葉だけでなく、日本の文化やマナーについても多くのことを学ぶことができました。

最後に、この留学を支えてくださったすべての方々に心から感謝いたします。国際課の先生方、音羽館の管理スタッフの皆さま、いつも親切にしてくださった西村先生、チューターのふたばさん、本当にありがとうございました。また、授業をしてくださったすべての先生方、一緒に学んだクラスメートの皆さんにも感謝しています。毎回の授業が楽しく、日本や世界の文化についてたくさん学ぶことができました。皆さんのおかげで、私の留学生活はとても充実したものになりました。

